

令和4年度 事業評価書

厚生部 住民福祉課

令和4年度 事業評価書

事業概要

人権擁護委員及び行政相談委員による相談並びに啓発活動を行います

担当課 住民福祉課
戸籍住民係 内線112・113

予算科目

2 款 1 項 15 目 4 事業 人権行政相談事務費

予算額 119千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 119千円

決算額 104千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 104千円

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|---------------------|---|
| 主な事業 | 人権行政相談事業 | | |
| 事業内容 | 町社会福祉協議会と合同により、毎月第2・第4火曜日に「心配ごと相談所」を開設し、住民からの各種相談に応じ、その内容によっては関係機関への紹介を行います。また、町産業まつりでは、会場内で人権啓発を行い、人権週間においては、内海保育所及び内海小学校で子ども人権教室を実施します。 | | |
| 基本施策① ※① | 3-6 | 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ | |
| 基本施策② ※① | | | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|--|--|
| 主な事業 | 人権行政相談事業 | |
| 予算額 | 119,000円 | |
| 決算額 | 104,140円 | |
| 財源 (一般財源) | 104,140円 | |
| (その他) | 0円 | |
| 執行率 | 87.5% | |
| 事業実績 | 心配ごと相談 20回/年 街頭啓発 2回/年 子ども人権教室 2回/年 特設人権相談 2回/年 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|---|-----------------|--|
| 事業指標 | 人権等に係る相談及び啓発活動を実施 | | |
| 目標値 | 28回/年 | | |
| 実績値 | 26回/年 | | |
| 達成度 | 未達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 心配ごと相談について、予約が無く開催しないことがあったため目標を達成できなかったが、新たに特設人権相談を行い、相談機会の拡充を図りました。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い | |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い | |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|--|
| 課題 | 町広報やHPで相談所の開設を周知しているが、相談したいという電話や窓口での問い合わせが年間10件ほどあり、相談所開設の認知度が不足しています。 | |
| 改善・対応策 | 街頭での人権啓発活動に併せ、心配ごと相談の広報も併せて行い、認知度の向上を図ります。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 戸籍法及び住民基本台帳法等に基づき、住民に関する記録を適正に管理します

担当課 住民福祉課
戸籍住民係 内線112・113

予算科目 2 款 3 項 1 目 1 事業 戸籍住民基本台帳一般管理費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|----------|------|------|----|-----|-----|---------|------|----------|
| 予算額 | 43,038千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 19,947千円 | 県支出金 | 87千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 6,213千円 | 一般財源 | 16,791千円 |
| 決算額 | 31,487千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 13,432千円 | 県支出金 | 87千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 6,436千円 | 一般財源 | 11,532千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|------------|---|
| 主な事業 | 戸籍住民基本台帳業務 | | |
| 事業内容 | 戸籍、住民基本台帳及び印鑑登録事務等で、戸籍の届書の受理、住民の転入・転出等の届出受理のほか全部・一部事項証明書（戸籍謄抄本）、住民票の写し及び印鑑登録証明書等の交付を行います。 また、戸籍法の一部を改正する法律に基づき戸籍情報システムの改修を行い、戸籍の届出に伴う住民負担及び町の事務負担の軽減を図ります。 | | |
| 基本施策① ※① | 4-2 | 業務の高度化、効率化 | |
| 基本施策② ※① | | | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|----------|---|--|
| 主な事業 | 戸籍住民基本台帳業務 | |
| 予算額 | 39,468,000円 | |
| 決算額 | 27,917,063円 | |
| 財源（一般財源） | 17,966,192円 | |
| （その他） | 9,950,871円 | |
| 執行率 | 70.7% | |
| 事業実績 | 戸籍届出件数 942件 住民基本台帳届出件数 3,006件 住民票の写し等交付件数 26,915件 マイナンバーカード申請件数 6,306件 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|--|-----------|----|
| 事業指標 | マイナンバーカード申請件数 | | |
| 目標値 | 2,500件/年 | | |
| 実績値 | 6,306件/年 | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 民間委託等も活用し、休日窓口や両島の出張窓口を多数実施した結果、目標を大きく超えることができました。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 2 ③ 4 5 | 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 2 ③ 4 5 | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | マイナンバーカードを申請したが、受け取りにきていない住民が約500名います。 | |
| 改善・対応策 | 受け取りにきていない住民に対し、再度通知を行います。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

民生委員児童委員の活動を支援します

担当課 住民福祉課
社会福祉係 内線115・116

予算科目 3 款 1 項 1 目 1 事業 社会福祉一般管理費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|------|---------|----|-----|-----|------|------|---------|
| 予算額 | 5,476千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 1,786千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 81千円 | 一般財源 | 3,609千円 |
| 決算額 | 2,989千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 1,645千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 76千円 | 一般財源 | 1,268千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|--|-----------------|---|
| 主な事業 | 民生委員児童委員活動事業 | | |
| 事業内容 | 社会福祉の活動がクローズアップされる中、社会奉仕の精神をもって地域住民の実態把握に努め、在宅福祉活動推進のため関係機関との連携を図り、福祉の相談者としての活動を展開します。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 | |
| 基本施策② ※① | | | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|--|--|
| 主な事業 | 民生委員児童委員活動事業 | |
| 予算額 | 2,446,000円 | |
| 決算額 | 2,377,927円 | |
| 財源 (一般財源) | 856,960円 | |
| (その他) | 1,520,967円 | |
| 執行率 | 97.2% | |
| 事業実績 | 民生委員児童委員の定数 51人 相談・支援件数 243件 活動日数 3,226日 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|---|-----------|----|
| 事業指標 | 民生委員児童委員役員会・全体会の開催 | | |
| 目標値 | 各6回/年 | | |
| 実績値 | 役員会6回/年、全体会6回/年 | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | コロナの影響も小さくなり、中止することなく会議の開催が出来ました。委員に1名の欠員が生じていましたが、今回の改選で定数分(51名)の委員を確保出来ました。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | 委員の改選時には区長さんから推薦をいただいているのですが、確保が難しくなっています。 | |
| 改善・対応策 | 各地区の世帯数・支援の状況を踏まえながら、必要に応じて委員定数を見直すための情報収集を行います。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 社会福祉関係団体に対する活動助成を実施します

担当課 住民福祉課
社会福祉係 内線115・116

予算科目 3 款 1 項 1 目 2 事業 社会福祉団体助成事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|-----|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 38,098千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 38,098千円 |
| 決算額 | 37,393千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 37,393千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|-----------------|---|
| 主な事業 | 社会福祉団体助成事業費 | | |
| 事業内容 | 社会福祉関係団体に対して活動助成を行い、福祉の充実に努めます。 社会福祉協議会 保護司会 更生保護女性会 民生委員児童委員協議会 遺族会 知的障害者授産施設建設事業償還金 | | |
| 基本施策① ※① | 1-4 | 個性を活かす障がい者福祉 | |
| 基本施策② ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|--|--|
| 主な事業 | 社会福祉団体助成事業費 | |
| 予算額 | 38,098,000円 | |
| 決算額 | 37,393,437円 | |
| 財源 (一般財源) | 37,393,437円 | |
| (その他) | 0円 | |
| 執行率 | 98.2% | |
| 事業実績 | 社会福祉関係団体に対して活動助成を行い、福祉の充実に努めました。 社会福祉協議会 保護司会 更生保護女性会 民生委員児童委員協議会 遺族会 知的障害者授産施設建設事業償還金 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|-------------------------------------|-----------|----|
| 事業指標 | 補助金の支出 | | |
| 目標値 | 6団体 | | |
| 実績値 | 6団体 | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 各団体に補助金を交付し、団体活動を支援し、円滑な福祉活動ができました。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | 後任者の確保が難しくなっている団体があります。 | |
| 改善・対応策 | 広報等での周知を行い、活動の意義を理解していただき、後任者を確保し、活動が継続出来るように努めます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 在宅障害者手当、障害者交通費扶助等、障害者に対する援護事業を実施します

担当課 住民福祉課
社会福祉係 内線115・116

予算科目 3 款 1 項 7 目 1 事業 障害者援護事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|-----|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 42,419千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 42,419千円 |
| 決算額 | 42,417千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 42,417千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 在宅障害者手当 | 障害者交通費扶助 |
|----------|---|--|
| 事業内容 | 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者に対し、手当の支給を行います。 | 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳1・2級の所持者に対し、海っ子バス・知多バス・名鉄海上観光船の乗車・船運賃の半額を助成する助成券とタクシーの基本料金を助成する助成券を交付します。 |
| 基本施策① ※① | 1-4 個性を活かす障がい者福祉 | 1-4 個性を活かす障がい者福祉 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | 1 2 ③ | 1 2 ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | 在宅障害者手当 | 障害者交通費扶助 |
|-----------|--|---|
| 予算額 | 35,899,000円 | 4,444,000円 |
| 決算額 | 35,898,500円 | 4,443,515円 |
| 財源 (一般財源) | 35,898,500円 | 4,443,515円 |
| (その他) | 0円 | 0円 |
| 執行率 | 100.0% | 100.0% |
| 事業実績 | 令和3年度受給者数 1,025人 令和4年度受給者数 1,026人 比較増減 +1人 | (R4) 4,381件 (R3) 3,466件 バス 7,254件 船 7,266件 タクシー 524件 583件 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 在宅障害者手当の支出 | 障害者交通費扶助費の支出 |
|-------------------|---|---|
| 目標値 | 3回/年 | 12回/年 |
| 実績値 | 3回/年 | 12回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 新規・継続・喪失など適時に処理し、適切に支給し、障がいを持った方の経済的援護に寄与できました。 | 対象者の申請に基づき助成券の交付を行い、障がい者の経済的援護に寄与できました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|--|
| 課題 | 手当の額について、近隣町と比較すると差が生じていますが、財政的に増額が難しい状況です。 | バス・船券は1冊が36枚綴りとなっていますが、頻繁に利用する方はすぐに使い切ってしまう、再度券を取りに来ていただく手間がかかります。 |
| 改善・対応策 | 財政は厳しいですが、障がいを持った方の経済的援護のため、今後も手当の支給を継続します。 | 1冊の綴り数を増やし、取りに来ていただく回数を減らせないか検討します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 障害者総合支援法等に基づき、福祉サービスを実施します

担当課 住民福祉課
社会福祉係 内線115・116

| | | |
|------|------------------|--|
| 予算科目 | 3 款 1 項 7 目 2 事業 | 障害者総合支援事業費 |
| 予算額 | 330,601千円 | 財源内訳 国庫支出金 137,999千円 県支出金 69,698千円 町債 0千円 その他 6,731千円 一般財源 116,173千円 |
| 決算額 | 323,705千円 | 財源内訳 国庫支出金 147,799千円 県支出金 73,582千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 102,324千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 障害者総合支援給付事業 | 地域生活支援事業 |
|----------|---|---|
| 事業内容 | 介護給付費 (訓練等給付含む) 自立支援医療給付費 療養介護医療給付費 身体障害者 (児) 補装具費 障害児通所給付費 | 相談支援事業費負担金 地域活動支援事業費負担金 成年後見利用促進事業負担金 地域生活支援給付費 地域生活支援委託事業 在宅身体障害者訪問入浴サービス事業 地域活動支援センター事業費補助金 |
| 基本施策① ※① | 1-4 個性を活かす障がい者福祉 | 1-4 個性を活かす障がい者福祉 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | 1 2 ③ | 1 2 ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | 障害者総合支援給付事業 | 地域生活支援事業 |
|-----------|---|---|
| 予算額 | 285,481,000円 | 35,772,000円 |
| 決算額 | 283,617,644円 | 33,598,256円 |
| 財源 (一般財源) | 69,372,298円 | 26,598,256円 |
| (その他) | 214,245,346円 | 7,000,000円 |
| 執行率 | 99.3% | 93.9% |
| 事業実績 | 介護給付費 (訓練等給付含む) 自立支援医療給付費 療養介護医療給付費 身体障害者 (児) 補装具費 障害児通所給付費 | 相談支援事業費負担金 地域活動支援事業費負担金 成年後見利用促進事業負担金 地域生活支援給付費 地域生活支援委託事業 在宅身体障害者訪問入浴サービス事業 地域活動支援センター事業費補助金 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 人材育成・人材確保のための研修・啓発 | 障がい者計画等の進行管理 |
|-------------------|--|--|
| 目標値 | 研修2回/年・啓発1回/年 | 1回/年 |
| 実績値 | 研修2回/年・啓発1回/年 | 1回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 知多南部地域自立支援協議会にて研修を行い、障害サービス事業所職員の資質向上に寄与出来ました。また、啓発活動について、事業所が工夫している取り組みを紹介する機会を設けました。 | 成果目標及び活動指標について、1年に1回その実績を把握し、障がい者施策や関連施策の動向を踏まえ分析・評価を行い、知多南部地域自立支援協議会にて意見を伺いました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | サービス利用者が増加する中で、町内にサービスを提供できる事業所が少ない状況です。 | サービス利用者が増加しており、サービス提供事業所に空きが出るまで待たなければならぬことがあります。 |
|---------|---|---|
| 改善・対応策 | 知多南部地域自立支援協議会にて協議するなどして、事業所職員の人材育成・人材確保が出来るように努めます。 | 障害のある方の生活を地域全体で支えるため、地域生活拠点の拡充など、社会資源を最大限に活かした体制の整備を進めます。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | A |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 障害者介護給付認定審査会を開催するなど障害支援区分認定事業を実施します

担当課 住民福祉課
社会福祉係 内線115・116

予算科目 3 款 1 項 7 目 3 事業 認定審査会費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|------|-----|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 予算額 | 1,229千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 1,229千円 |
| 決算額 | 1,100千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 1,100千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|--------------|---|
| 主な事業 | 障害者介護給付認定審査会 | | |
| 事業内容 | 南知多町障害者の日常生活及び社会生活を総合支援するための法律施行条例に基づき障害者介護給付認定審査会を開催します。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-4 | 個性を活かす障がい者福祉 | |
| 基本施策② ※① | | | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|---------------------------------|--|
| 主な事業 | 障害者介護給付認定審査会 | |
| 予算額 | 1,227,000円 | |
| 決算額 | 1,099,605円 | |
| 財源 (一般財源) | 1,099,605円 | |
| (その他) | 0円 | |
| 執行率 | 89.6% | |
| 事業実績 | 審査会委員 5人 開催回数 11回 認定者 35人 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|---|-----------|----|
| 事業指標 | 申請から2か月以内の障害区分認定 | | |
| 目標値 | 100% | | |
| 実績値 | 100% | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 障害福祉サービス利用に必要な支援区分認定について、認定審査会を適時に開催し、障がい者の安定した生活に寄与できています。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|--|
| 課題 | 既存の利用者に加え、新規のサービス利用希望者が増加しており、遅滞なくサービス利用につなげることが求められています。 | |
| 改善・対応策 | 計画的に事務処理を行い審査会に諮り、申請から2か月以内に障害区分認定ができるようにします。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

厚生部 保険年金室

令和4年度 事業評価書

事業概要

身体障害者手帳1級から3級の方などを対象に、医療費の自己負担額を助成します

担当課 保険年金室
福祉医療係 内線121・122

予算科目

3 款 1 項 5 目 1 事業 障害者医療費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|----------|----|-----|-----|---------|------|----------|
| 予算額 | 23,937千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 10,076千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 5,001千円 | 一般財源 | 8,860千円 |
| 決算額 | 21,599千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 8,913千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 12,686千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|--------------|---|
| 主な事業 | 障害者医療費助成事業 | | |
| 事業内容 | 身体障害者手帳1級から3級の方などを対象に、医療費（保険診療分）の自己負担額を助成します。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-4 | 個性を活かす障がい者福祉 | |
| 基本施策② ※① | | | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|----------|--|--|
| 主な事業 | 障害者医療費助成事業 | |
| 予算額 | 23,937,000円 | |
| 決算額 | 21,598,507円 | |
| 財源（一般財源） | 12,685,507円 | |
| （その他） | 8,913,000円 | |
| 執行率 | 90.2% | |
| 事業実績 | 受給資格者 168人 助成金額 21,451千円 助成件数 3,591件 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|---|-----------------|--|
| 事業指標 | 適正な障害者医療費の支払 | | |
| 目標値 | 12回/年 | | |
| 実績値 | 12回/年 | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 高水準の福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために引き続き事業を継続する必要があります。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い | |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い | |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|--|
| 課題 | 他の公費負担医療制度を優先して給付を受けることができる場合は、町の負担が軽減されます。しかし、他の公費負担医療制度を使用しなくても、受給者は無料で医療を受けられることには変わりはないため、他の公費負担医療制度の受給資格があるにも関わらず、申請されない方がいます。 | |
| 改善・対応策 | 事業を継続していくためにも、他の公費負担医療の受給資格がある方には、申請をしていただくよう、町広報やホームページ等でPRしていきます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 子ども医療費及び一般不妊治療費の助成を行います

担当課 保険年金室
福祉医療係 内線121・122

| | | | | | | | | | | | | | |
|------|----------|-----|-----|------|--------|-----|------|---------|----|-----|-----|-----|---------------|
| 予算科目 | 3 款 | 1 項 | 5 目 | 2 事業 | 子ども医療費 | | | | | | | | |
| 予算額 | 54,545千円 | | | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 6,464千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 48,081千円 |
| 決算額 | 51,971千円 | | | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 7,175千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 44,796千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 子ども医療費助成事業 | 一般不妊治療費助成事業 |
|----------|--|-----------------------------------|
| 事業内容 | 18歳に達する年度末までの子どもの医療費（保険診療分）の自己負担額を助成します。 | 不妊に悩む夫婦に対し、一般不妊治療に要する費用の一部を助成します。 |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 子ども医療費助成事業 | 一般不妊治療費助成事業 |
|----------|--|--------------------------------|
| 予算額 | 54,097,000円 | 448,000円 |
| 決算額 | 51,885,106円 | 85,358円 |
| 財源（一般財源） | 44,710,106円 | 85,358円 |
| （その他） | 7,175,000円 | 0円 |
| 執行率 | 95.9% | 19.1% |
| 事業実績 | 受給資格者 1,630人 助成額 51,298千円 助成件数 17,528件 | 助成組数 2組 助成額 85千円 助成件数 2件 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 適正な子ども医療費の1人当たりの助成 | 一般不妊治療費助成の件数 |
|-------------------|--|---|
| 目標値 | 29,000円 | 9件 |
| 実績値 | 31,471円 | 2件 |
| 達成度 | 未達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | 高水準の福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために、引き続き事業を継続する必要があります。 | 不妊に悩む夫婦に対し、経済的な負担軽減を図るため、不妊治療の一部を助成しており、引き続き事業を継続する必要があります。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 本町の子ども医療費助成制度が県内でもトップクラスの水準であることがあまり認識されていません。 | 申請件数が減少しています。 |
|---------|--|---|
| 改善・対応策 | 町広報やホームページ等でPRしていきます。 | 知らずに助成を受けられなかったということがないように、町広報誌やホームページ掲載に加え、保健センターにお願いし、母子手帳交付時にも案内をしていきます。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

18歳に達する年度末までの児童を扶養している配偶者のいない母（父）とその児童を対象に、医療費の自己負担額を助成します

担当課 保険年金室
福祉医療係 内線121・122

予算科目

3 款 1 項 5 目 3 事業 母子家庭等医療費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|---------|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 予算額 | 10,727千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 5,306千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 5,421千円 |
| 決算額 | 10,468千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 5,000千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 5,468千円 |

計画 (PLAN)

| | | |
|----------|--|-------------|
| 主な事業 | 母子家庭等医療費助成事業 | |
| 事業内容 | 18歳に達する年度末までの児童を扶養している配偶者のいない母（父）とその児童を対象に、医療費（保険診療分）の自己負担額を助成します。 | |
| 基本施策① ※① | 1-1 | 地域で大切に子育て環境 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① | 2 3 |

実施 (DO)

| | | |
|----------|---|--|
| 主な事業 | 母子家庭等医療費助成事業 | |
| 予算額 | 10,727,000円 | |
| 決算額 | 10,467,531円 | |
| 財源（一般財源） | 5,467,531円 | |
| （その他） | 5,000,000円 | |
| 執行率 | 97.6% | |
| 事業実績 | 受給資格者 230人 助成額 10,340千円 助成件数 2,936件 | |

評価 (CHECK)

| | | |
|-------------------|--|-----------------|
| 事業指標 | 適正な母子家庭等医療費の支払 | |
| 目標値 | 12回/年 | |
| 実績値 | 12回/年 | |
| 達成度 | 達成 | |
| 担当課評価 ※③ | 高水準の福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために、引き続き事業を継続する必要があります。 | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | 母子家庭等医療は所得制限があり、毎年更新申請が必要ですが、期限までに提出されない受給者がいます。 | |
| 改善・対応策 | 対象者の多くが一緒である児童扶養手当と更新申請書の発送時期を合わせることで、受給者の来庁を一度で済むよう受給者の負担軽減に努めます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 精神障害者保健福祉手帳1・2級の方などを対象に、医療費の自己負担額を助成します

担当課 保険年金室
福祉医療係 内線121・122

予算科目 3 款 1 項 5 目 4 事業 精神障害者医療費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|---------|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 16,685千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 4,378千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 12,307千円 |
| 決算額 | 16,267千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 3,827千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 12,440千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|--------------|---|
| 主な事業 | 精神障害者医療費助成事業 | | |
| 事業内容 | 精神障害者保健福祉手帳1・2級の方などを対象に、医療費（保険診療分）の自己負担額（ただし、自立支援医療費の支給を受けて通院している方は、精神通院医療費のみ）を助成します。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-4 | 個性を活かす障がい者福祉 | |
| 基本施策② ※① | | | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|----------|--|--|
| 主な事業 | 精神障害者医療費助成事業 | |
| 予算額 | 16,685,000円 | |
| 決算額 | 16,267,162円 | |
| 財源（一般財源） | 12,440,162円 | |
| （その他） | 3,827,000円 | |
| 執行率 | 97.5% | |
| 事業実績 | 受給者数 246人 助成額 16,092千円 件数 5,365件 | |

評価 (CHECK)

| | | |
|-------------------|--|-----------------|
| 事業指標 | 適正な精神障害者医療費の支払 | |
| 目標値 | 12回/年 | |
| 実績値 | 12回/年 | |
| 達成度 | 達成 | |
| 担当課評価 ※③ | 高水準の福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために、引き続き事業を継続する必要があります。 | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|--|
| 課題 | 精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者が自立支援医療を優先して受給することで町の負担が軽減されます。しかし、自立支援医療を受給しなくても、受給者は無料で医療が受けられることに変わりはないため、自立支援医療の申請に協力していただけないことがあります。 | |
| 改善・対応策 | 事業を継続するために、受給者に対して自立支援医療を受給するようにお願いしていきます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

後期高齢者医療被保険者で障害者医療や精神障害者医療などに該当する方を対象に、医療費の自己負担額を助成します

| |
|-----------------|
| 担当課 保険年金室 |
| 福祉医療係 内線121・122 |

予算科目

3 款 1 項 5 目 5 事業 後期高齢者福祉医療費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|----------|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 49,068千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 23,551千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 25,517千円 |
| 決算額 | 48,054千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 21,638千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 26,416千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|--|-----------------|---|
| 主な事業 | 後期高齢者福祉医療費助成事業 | | |
| 事業内容 | 後期高齢者医療被保険者で障害者医療や精神障害者医療などに該当する方を対象に、医療費（保険診療分）の自己負担額（ただし、ひとり暮らしの者は、自己負担額の1/2）を助成します。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-4 | 個性を活かす障がい者福祉 | |
| 基本施策② ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|----------|---|--|
| 主な事業 | 後期高齢者福祉医療費助成事業 | |
| 予算額 | 49,068,000円 | |
| 決算額 | 48,054,004円 | |
| 財源（一般財源） | 26,416,004円 | |
| （その他） | 21,638,000円 | |
| 執行率 | 97.9% | |
| 事業実績 | 受給者数 601人 助成額 47,611千円 助成件数 13,356件 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|--|-----------|----|
| 事業指標 | 適正な後期高齢者福祉医療費の支払 | | |
| 目標値 | 12回/年 | | |
| 実績値 | 12回/年 | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 高水準の福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために、引き続き事業を継続する必要があります。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 2 3 4 ⑤ | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|--|
| 課題 | 他の公費負担医療制度を優先して給付を受けることができる場合は、町の負担が軽減されます。しかし、他の公費負担医療制度を使用しなくても、受給者は無料で医療を受けられることには変わりはないため、他の公費負担医療制度の受給資格があるにも関わらず、申請されない方がいます。 | |
| 改善・対応策 | 事業を継続していくためにも、他の公費負担医療の受給資格がある方には、申請をしていただくよう、町広報やホームページ等でPRしていきます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

篠島及び日間賀島に在住する町民が医療保険で訪問看護サービスを利用する場合に要する海上交通費及び師崎港駐車場料金の助成を行います

担当課 保険年金室
福祉医療係 内線121・122

予算科目

3 款 1 項 5 目 8 事業 訪問看護サービス助成事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|------|-------|-----|------|-----|----|-----|-----|-----|------|-------|
| 予算額 | 120千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 120千円 |
| 決算額 | 59千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 59千円 |

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|-----------------|---|
| 主な事業 | 訪問看護サービス助成事業 | | |
| 事業内容 | 篠島及び日間賀島に在住する町民が、医療保険で訪問看護サービスを利用する場合に要する海上交通費及び師崎港駐車場料金を助成します。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-4 | 個性を活かす障がい者福祉 | |
| 基本施策② ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|-----------------------------------|--|
| 主な事業 | 訪問看護サービス助成事業 | |
| 予算額 | 120,000円 | |
| 決算額 | 59,380円 | |
| 財源 (一般財源) | 59,380円 | |
| (その他) | 0円 | |
| 執行率 | 49.5% | |
| 事業実績 | 利用実人数 7人 延べ人数 109人 助成回数 81回 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|---|-----------|----|
| 事業指標 | 適正な助成費の支払 | | |
| 目標値 | 12回/年 | | |
| 実績値 | 15回/年 | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 離島において医療保険の訪問看護を行う事業者を確保するために、事業を継続する必要があります。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 2 ③ 4 5 | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--------------------|--|
| 課題 | 実利用者が少ないです。 | |
| 改善・対応策 | 他の事業との統合を検討していきます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 後期高齢者医療広域連合より健康診査業務を受託し、南知多町の被保険者に健康診査を行います

担当課 保険年金室
福祉医療係 内線121・122

予算科目 3 款 1 項 8 目 1 事業 後期高齢者保健事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|------|-----|----|-----|-----|---------|------|-------|
| 予算額 | 7,305千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 6,502千円 | 一般財源 | 803千円 |
| 決算額 | 7,062千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 7,609千円 | 一般財源 | 0千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 後期高齢者健康診査事業 | 後期高齢者歯科健診事業 |
|----------|--|---|
| 事業内容 | 後期高齢者医療広域連合より健康診査業務を受託し、南知多町の被保険者に健康診査を行います。 | 75歳の被保険者を対象に、口腔機能低下予防を図り、肺炎等の疾病予防につなげるために歯科健診を行います。 |
| 基本施策① ※① | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策② ※① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | 1 2 3 | 1 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 後期高齢者健康診査事業 | 後期高齢者歯科健診事業 |
|-----------|--|-------------------------------------|
| 予算額 | 7,119,000円 | 186,000円 |
| 決算額 | 6,920,988円 | 140,758円 |
| 財源 (一般財源) | 652,750円 | 105,758円 |
| (その他) | 6,268,238円 | 35,000円 |
| 執行率 | 97.2% | 75.7% |
| 事業実績 | 対象者数 3,603人 受診者数 804人 受診率 22.31% | 対象者数 266人 受診者数 31人 受診率 11.65% |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 受診率 | 受診率 |
|-------------------|---|---|
| 目標値 | 25% | 15% |
| 実績値 | 22.31% | 11.65% |
| 達成度 | 未達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | 未受診者に個別通知を送付したこともあり、昨年度より4.05%受診率は向上しましたが、目標値を達成できませんでした。疾病の早期発見、重症化予防のため、健診受診は重要であり、引き続き継続する必要があります。 | 昨年度より、受診者は増えましたが、受診率は2.38%低下し、目標値を達成できませんでした。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|------------------------------|
| 課題 | コロナ禍での3年目の健診の実施であり、感染症対策として会場を集約、予約制とし予約申込用返信封筒を同封しました。結果受診者数は増加しましたが、コロナ前の水準には受診率は回復していません。 | 受診率が低いです。 |
| 改善・対応策 | 健診を受診しやすくなるよう、健診会場、日程を見直します。また、引き続き個別健診も行います。 | 対象者への個別通知の内容を受診につながるよう検討します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 国民健康保険制度の適切な運用に努めます

担当課 保険年金室
 国保年金係 内線123・124

予算科目 国民健康保険特別会計

| | | | | | | |
|-----|-------------|------|---------|-----------|-----|-------------|
| 予算額 | 2,897,388千円 | 財源内訳 | 一般会計繰入金 | 191,507千円 | その他 | 2,705,881千円 |
| 決算額 | 2,697,208千円 | 財源内訳 | 一般会計繰入金 | 191,506千円 | その他 | 2,505,702千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 保険給付 | 健康診査 |
|-------|--|---|
| 事業内容 | 被保険者の医療や出産、死亡に対して、療養給付費や高額療養費、出産育児一時金、葬祭費を給付します。 | 特定健康診査等事業 40歳以上の被保険者に対して、特定健康診査と特定保健指導を行います。 人間ドック・脳ドック助成事業 被保険者が受診する人間ドック・脳ドックに対して、助成を行います。 |
| 基本施策① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策② | | |
| 基本施策③ | | |
| 重点政策 | 1 2 3 | 1 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 保険給付 | 健康診査 |
|-----------|-----------------------|---|
| 予算額 | 1,809,150,000円 | 23,029,000円 |
| 決算額 | 1,618,632,909円 | 18,534,053円 |
| 財源 (一般財源) | 28,552,525円 | 9,354,053円 |
| (その他) | 1,590,080,384円 | 9,180,000円 |
| 執行率 | 89.5% | 80.5% |
| 事業実績 | 令和4年度末 被保険者数 5475人 | 特定健康診査受診者数 1,212人 人間ドック受診者数 170人 脳ドック受診者数 99人 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 医療費等の適正な給付を行う。 | 健診受診率 |
|-------------------|--|--|
| 目標値 | 12回/年 | 36% |
| 実績値 | 12回/年 | 33.9% |
| 達成度 | 達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | 医療費通知による被保険者に対する周知、健康診断により重症化予防策をするなど医療給付費を抑制ができた。 | 昨年より2.4%受診率は向上しましたが、目標値を達成できませんでした。被保険者の健康維持と健康意識の向上のために必要な事業です。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 後期高齢者医療への移行により被保険者数が減少したため、保険給付費の総額は減少したが、一人当たりの医療費は増加傾向にあります。 | コロナ禍での3年目の健康診断の実施であり、感染対策として健診会場を集約し、予約制とし予約申込用返信封筒を同封しました。その結果、受診者数は増加しましたが、コロナ前の水準までは受診率が回復していません。 |
|---------|--|--|
| 改善・対応策 | 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、健診異常値放置者受診勧奨などを実施し、生活習慣病予防に努め、重症化を予防します。ジェネリック医薬品の使用を推進します。 | 健康診断を受診しやすくなるように、健診会場、日程を見直します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 後期高齢者医療制度の適切な運用に努めます

担当課 保険年金室
福祉医療係 内線121・122

予算科目 後期高齢者医療特別会計

| | | | | | | |
|-----|-----------|------|---------|----------|-----|-----------|
| 予算額 | 308,593千円 | 財源内訳 | 一般会計繰入金 | 74,187千円 | その他 | 234,406千円 |
| 決算額 | 301,990千円 | 財源内訳 | 一般会計繰入金 | 74,187千円 | その他 | 227,803千円 |

計画 (PLAN)

| | | |
|-------|--|-----------------|
| 主な事業 | 後期高齢者医療 | |
| 事業内容 | 後期高齢者医療広域連合と市町村が協力して運営する制度です。広域連合は被保険者証の交付、保険料の賦課、医療費給付を担当し、町においては、各種申請書や届出の窓口受付などを行います。 | |
| 基本施策① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策② | | |
| 基本施策③ | | |
| 重点政策 | 1 | 2 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|---------------------|--------------|
| 主な事業 | 後期高齢者医療 | |
| 予算額 | | 308,593,000円 |
| 決算額 | | 301,990,235円 |
| 財源 (一般財源) | | 74,186,356円 |
| (その他) | | 227,803,879円 |
| 執行率 | | 97.9% |
| 事業実績 | 令和4年度末 被保険者数 3,661人 | |

評価 (CHECK)

| | | |
|-------------------|---|-----------------|
| 事業指標 | 適正な後期高齢者医療広域連合納付金の支出 | |
| 目標値 | 12回/年 | |
| 実績値 | 12回/年 | |
| 達成度 | 達成 | |
| 担当課評価 ※③ | 愛知県後期高齢者広域連合と連携し、制度を運営していく必要があります。保険料の滞納者には、早期及び定期的な催告を実施しましたが、収納率は現年度分99.90%、滞納繰越分68.38%でした。 | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|-----------------------------------|--|
| 課題 | 保険料が滞りがちな被保険者がいます。 | |
| 改善・対応策 | 滞納額が高額にならないよう、滞納者と早期に接触するように努めます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

厚生部 環境課

令和4年度 事業評価書

事業概要 住民と行政の協働による環境美化と地域環境の保全に努めます

担当課 環境課
環境保全係 内線524

予算科目 4 款 1 項 3 目 1 事業 環境保全対策事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|----------|------|---------|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 予算額 | 24,998千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 17,578千円 | 県支出金 | 7,166千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 254千円 |
| 決算額 | 20,862千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 9,359千円 | 県支出金 | 2,201千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 9,302千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 環境保全対策事業 | 環境保全啓発事業 |
|----------|---|------------------------------------|
| 事業内容 | 生活環境改善事業 地下水調査 水質調査 環境美化清掃活動 地区一斉清掃ごみ収集運搬 合併処理浄化槽設置推進 生活排水処理基本計画策定 (新規) | 環境美化清掃活動啓発 緑のカーテン事業 環境学習推進事業 |
| 基本施策① ※① | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり |
| 基本施策② ※① | 3-7 心と体安らぐ自然・住環境 | 3-7 心と体安らぐ自然・住環境 |
| 基本施策③ ※① | 4-4 持続可能な行財政運営 | 4-4 持続可能な行財政運営 |
| 重点政策 ※② | ① 2 ③ | ① 2 ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | 環境保全対策事業 | 環境保全啓発事業 |
|-----------|---|--|
| 予算額 | 22,568,000円 | 2,430,000円 |
| 決算額 | 18,447,358円 | 2,414,965円 |
| 財源 (一般財源) | 11,261,571円 | 299,431円 |
| (その他) | 7,185,787円 | 2,115,534円 |
| 執行率 | 81.7% | 99.4% |
| 事業実績 | ・水質検査 7カ所 (2回) ・環境美化清掃活動 8回実施 ・地区一斉清掃ごみ収集運搬 10地区 (回収量 20,940kg) ・合併処理浄化槽設置 28基 | ・緑のカーテン事業 公共施設に設置 7カ所 町内協力者に配布 100世帯 ・環境学習推進事業 環境共育推進事業 3事業実施 町自然観察会 3回実施 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 汚水処理人口普及率 | 緑のカーテン事業 |
|-------------------|---|--------------------------------|
| 目標値 | 44.0% | 100世帯 |
| 実績値 | 44.3% | 100世帯 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 転換の上乗せ補助をホームページと広報 (2回掲載) で周知しましたが件数は伸びず、目標は達成しましたが、汚水処理人口普及率は依然として低いまです。 | 今年度は配布資材の充実を図り目標の100世帯を達成しました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 課題 | 課題 |
|---------|--|---|
| 課題 | 令和4年度は全体で28基、うち転換は10基であり横ばい状態です。今後も町内の汲み取り便槽や単独処理浄化槽を、いかに合併処理浄化槽へ転換してもらうかが課題となります。 | カーボンニュートラルに向けた取組の一つであり、より多くの町民に参加してもらい、町民自らが率先して緑のカーテンに取り組むような意識作りが課題となっています。 |
| 改善・対応策 | 広報やホームページ以外にもメールサービスや窓口封筒を活用し、転換することのメリットなど、さらなる周知を図ります。 | より多くの町民に参加してもらうため、配布世帯数を増やします。また、保育所での出前講座や、緑のカーテンの育成を通じて環境への意識啓発を図ります。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

環境衛生対策を図るため、不法投棄ごみの対策及び食用廃油の回収、狂犬病予防接種と犬の登録を実施します

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 1 項 3 目 2 事業 環境衛生狂犬病対策事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|------|-----|----|-----|-----|-------|------|-------|
| 予算額 | 1,263千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 927千円 | 一般財源 | 336千円 |
| 決算額 | 857千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 857千円 | 一般財源 | 0千円 |

計画 (PLAN)

実施 (DO)

| 主な事業 | 環境衛生対策事業 | 狂犬病予防対策事業 |
|----------|--|---------------------------|
| 事業内容 | 食用廃油回収事業 不法投棄ごみ等対策事業 はち防護服の貸出し事業 | 犬の鑑札交付事業 狂犬病予防注射済票交付事業 |
| 基本施策① ※① | 3-7 心と心安らぐ自然・住環境 | 3-7 心と心安らぐ自然・住環境 |
| 基本施策② ※① | 1-1 地域で大切に育てる子育て環境 | 1-1 地域で大切に育てる子育て環境 |
| 基本施策③ ※① | 4-4 持続可能な行政運営 | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり |
| 重点政策 ※② | ① 2 ③ | ① 2 ③ |

| 主な事業 | 環境衛生対策事業 | 狂犬病予防対策事業 |
|-----------|-------------------------------|---------------------------------|
| 予算額 | | 948,700円 |
| 決算額 | | 578,490円 |
| 財源 (一般財源) | | 509,971円 |
| (その他) | | 68,519円 |
| 執行率 | | 61.0% |
| 事業実績 | 食用廃油回収 6,439ℓ 不法投棄ごみ回収 44件 | 登録頭数 1,012頭 狂犬病予防注射接種頭数 864頭 |

評価 (CHECK)

改善 (ACTION)

| 事業指標 | 食用廃油回収量 | 狂犬病予防注射接種率 |
|-------------------|---|---|
| 目標値 | 7,000ℓ | 87% |
| 実績値 | 6,439ℓ | 85% |
| 達成度 | 未達成 | 未達成 |
| 担当課評価 ※③ | R3は年3回の回収で出しやすさに欠けていたため、R4から、半島側は常時、離島側は年4回に回収を拡大しました。しかし年度途中での変更であったため、回収量は伸びませんでした。 | R4年度は未接種者に対しわかりやすく接種義務の通知を送りました。その結果、集団接種の件数は減少しているものの、接種率は一定水準を保っています。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

| 課題 | 改善・対応策 | 推進方針 ※⑤ |
|---------|---|--|
| 課題 | 廃油が資源となるという認識が不足しています。 | 定められた期間内での接種が義務であるという認識が不足しています。 |
| 改善・対応策 | 回収の機会は維持しつつ、廃油を資源として認識してもらえるよう、広報・回覧等により、さらなる周知を行います。 | 集合注射案内及び未接種者への案内に接種義務をわかりやすく記載するとともに、広報・HPIによりさらなる周知を行います。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 海岸漂着物の清掃や篠島、日間賀島のごみ処理と施設の維持管理を行います

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 2 項 1 目 1 事業 ごみ処理業務費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|---------|------|---------|----|-----|-----|-------|------|----------|
| 予算額 | 63,494千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 7,295千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 107千円 | 一般財源 | 56,092千円 |
| 決算額 | 59,550千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 2,415千円 | 県支出金 | 5,790千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 100千円 | 一般財源 | 51,245千円 |

計画 (PLAN)

実施 (DO)

| 主な事業 | 離島ごみ処理施設維持管理事業 | 海岸漂着物等地域対策推進事業 |
|----------|--|---|
| 事業内容 | 日間賀島最終処分場汚水処理施設管理業務 離島最終処分場管理業務 離島事業系ごみ収集運搬（島外搬出） ダイオキシン類排出実態調査 離島最終処分場汚水処理施設維持修繕 日間賀島最終処分場管理検討（新規） | 住民や観光客の憩いの場となっている海水浴場等に漂着したごみ対策として、定期的に海岸清掃を実施し、海岸及び自然環境の保全に努めます。 |
| 基本施策① ※① | 3-7 心と体安らぐ自然・住環境 | 3-7 心と体安らぐ自然・住環境 |
| 基本施策② ※① | 3-4 安心な暮らしを支えるインフラ | 2-4 何度も訪れたい観光・交流 |
| 基本施策③ ※① | 4-4 持続可能な行財政運営 | 1-1 地域で大切に育てる子育て環境 |
| 重点政策 ※② | 1 2 ③ | ① ② ③ |

| 主な事業 | 離島ごみ処理施設維持管理事業 | 海岸漂着物等地域対策推進事業 |
|----------|---|--|
| 予算額 | 55,143,000円 | 8,351,000円 |
| 決算額 | 52,645,241円 | 6,904,641円 |
| 財源（一般財源） | 28,495,200円 | 1,114,641円 |
| （その他） | 24,150,041円 | 5,790,000円 |
| 執行率 | 95.5% | 82.7% |
| 事業実績 | ○関連施設の適正管理 ・旧篠島最終処分場 ・日間賀島最終処分場 ・日間賀島最終処分場汚水処理施設 | ○海岸漂着ごみの回収 回収期間：令和4年5月～令和5年2月 回収量：41,800kg |

評価 (CHECK)

改善 (ACTION)

| 事業指標 | 最終処分場放流水ダイオキシン類排出実態調査 | 海岸漂着物等地域対策推進事業の実施 |
|------------------|--|--|
| 目標値 | 10pg-TEQ/l以下 | 10か月 |
| 実績値 | 0.0021pg-TEQ/l以下 | 10か月 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 最終処分場汚水処理施設の管理費を抑制するため、日間賀島最終処分場の廃止に向けた管理検討を行いました。 | 5月から2月にかけて漂着ごみの回収を実施しました。 漂着ごみを回収でき、きれいな海岸が維持できました。 |
| 基本施策有効評価（妥当性） ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価（効率性） ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

| 課題 | 最終処分場汚水処理施設の老朽化による修繕、旧焼却施設解体に多額の費用を要することです。 | ボランティアによる回収は一年を通して実施されているのに対し、事業の実施期間が限定的になっていることです。 |
|---------|--|--|
| 改善・対応策 | 現在行っている刈草・剪定枝の搬入を維持しながらも最終処分場を廃止できるよう、住民サービスが低下しない廃止の方策を検討します。 | 事業実施期間のさらなる拡大を行います。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | A |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

適切なごみの収集及びごみ減量化のため、指定ごみ袋の作成販売、エコステーション及びごみ減量化推進会議の運営をします。

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目

4 款 2 項 1 目 2 事業 ごみ減量収集対策事業費

予算額 23,776千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 4,932千円 一般財源 18,844千円

決算額 18,464千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 4,099千円 一般財源 14,365千円

計画 (PLAN)

| 主な事業 | ごみ収集対策事業 | ごみ減量化対策事業 |
|----------|--|--|
| 事業内容 | 指定ごみ袋作成事業 小動物死骸処理事業 ごみ集積所整備事業 広域環境センターごみ運搬費補助事業 | 古紙・びん等回収促進事業 エコステーション事業 生ごみ堆肥化容器等設置奨励補助 ごみ減量化推進会議（新規） |
| 基本施策① ※① | 3-7 心と体安らぐ自然・住環境 | 3-7 心と体安らぐ自然・住環境 |
| 基本施策② ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策③ ※① | 4-4 持続可能な行財政運営 | 4-4 持続可能な行財政運営 |
| 重点政策 ※② | ① 2 ③ | ① 2 ③ |

実施 (DO)

| 主な事業 | ごみ収集対策事業 | ごみ減量化対策事業 |
|----------|--|--|
| 予算額 | 14,831,120円 | 8,944,880円 |
| 決算額 | 11,892,342円 | 6,571,943円 |
| 財源（一般財源） | 8,732,742円 | 5,699,889円 |
| （その他） | 3,159,600円 | 872,054円 |
| 執行率 | 80.2% | 73.5% |
| 事業実績 | ○可燃ごみ用指定ごみ袋作成 45ℓ：4万枚 30ℓ：1万枚 15ℓ：2.6万枚 | ○古紙・びん等回収 実施団体：9団体 回収量：352,580kg ○エコステーション事業 開設場所：2か所 回収量：160,915kg ○ごみ減量化計画策定 ごみ減量化推進会議開催 6回 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 家庭系ごみの1人1日当たりごみ量 | 家庭系ごみのリサイクル率 |
|------------------|---|--|
| 目標値 | 573g | 23.1% |
| 実績値 | 554g（速報値） | 28.2%（速報値） |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | ごみ分別の説明会を開催し、産業まつりや福祉敬老フェアで分別のPRを行いました。 | コンポスト購入の補助率を1/2から2/3に、上限を2,100円から5,000円に増額しました。ごみ減量化推進会議を開催し、ごみ減量化計画を策定しました。 |
| 基本施策有効評価（妥当性） ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価（効率性） ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 分別収集で、分別誤りがみられます。 | 家庭から出る可燃ごみの重量の49%が生ごみであり、全国平均の33%に対して多いことです。 |
|---------|-----------------------------------|--|
| 改善・対応策 | 優良事例を広報で特集し、分別収集のやり方、品目への理解を広めます。 | 生ごみを減らすためにコンポスト購入等の補助の他、キエーロの普及に向けたモニター調査を実施します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

厚生部 健康介護課

令和4年度 事業評価書

事業概要 ひとり暮らし高齢者が地域で安心して生活できる地域づくりを支援します

担当課 健康介護課
高齢者介護係 内線133・134

予算科目 3 款 1 項 2 目 1 事業 老人福祉一般管理費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|------|-------|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 予算額 | 2,799千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 262千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 2,537千円 |
| 決算額 | 1,529千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 106千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 1,423千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 高齢者見守り事業 | 高齢者一般調査事業 |
|----------|--|---|
| 事業内容 | 75歳以上ひとり暮らし高齢者を町職員が見守りを目的に2か月に1回訪問します。 | 次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とすることを目的に、高齢者に対し実態調査を行います。 |
| 基本施策① ※① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | 1 2 3 | 1 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 高齢者見守り事業 | 高齢者一般調査事業 |
|-----------|--------------------------------|-----------------------------|
| 予算額 | 115,000円 | 2,293,000円 |
| 決算額 | 88,040円 | 1,276,000円 |
| 財源 (一般財源) | 88,040円 | 1,276,000円 |
| (その他) | 0円 | 0円 |
| 執行率 | 76.6% | 55.6% |
| 事業実績 | 高齢者見守り事業対象高齢者数 410人 (令和4年7月現在) | 高齢者一般調査 1,253人回収 (2,000人送付) |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 見守り実施回数 | アンケート回収率 |
|-------------------|--|---|
| 目標値 | 6回/年 | 60% |
| 実績値 | 6回/年 | 62.7% |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 連絡体制強化のため、電話番号の確認を徹底しました。見守り担当グループによっては、訪問回数を確保できない地区もありました。 | 郵送回収に加え、インターネットでの回答も可能とし、次期計画策定のための必要数を確保できました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 職員の業務等の都合により、訪問を実施できなかった月のある地区がありました。 | アンケートの項目数が多く、わかりにくかったり答えにくい内容もあります。 |
|---------|--|---------------------------------------|
| 改善・対応策 | 各グループの担当者を中心に、グループ内での声かけや調整を行いながら確実に訪問し、会えなかった場合の対処方法については職員へ再周知します。 | 国から示される調査項目については変更できないため、町独自項目を厳選します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | D |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

福祉敬老フェアの開催や百歳高齢者の記念品の授与など高齢者の敬老に係る事業を実施します

担当課 健康介護課
高齢者介護係 内線133・134

予算科目

3 款 1 項 2 目 2 事業 高齢者敬老事業費

予算額 1,734千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 836千円 一般財源 898千円

決算額 750千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 732千円 一般財源 18千円

計画 (PLAN)

| 主な事業 | (新規) 福祉敬老フェア事業 | 百歳高齢者町長表敬訪問事業 |
|----------|---|----------------------------|
| 事業内容 | 老人福祉の増進、地域福祉の啓発等を目的に、地域の介護・福祉事業所等と連携し、南知多町福祉敬老フェアを開催する。 ・式典の開催 ・事業所等啓発ブースの設置 ・敬老コンテストの実施 | 町長が百歳高齢者の方を訪問し、ご長寿をお祝いします。 |
| 基本施策① ※① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策② ※① | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | 1 2 ③ | 1 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | (新規) 福祉敬老フェア事業 | 百歳高齢者町長表敬訪問事業 |
|-----------|--|---------------|
| 予算額 | 1,672,000円 | 62,000円 |
| 決算額 | 731,887円 | 17,675円 |
| 財源 (一般財源) | 0円 | 17,675円 |
| (その他) | 731,887円 | 0円 |
| 執行率 | 43.8% | 28.5% |
| 事業実績 | 参加者 590人 一般来場者 407人 その他表彰・演芸関係者、従事者等 | 町長表敬対象者 5人 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 来場者数 | 百歳高齢者訪問率 |
|-------------------|---|--|
| 目標値 | 500名 | 100% |
| 実績値 | 590名 | 100% |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 初めてのイベントでありコロナ渦でもありましたが、感染対策をとりながら多くの方に福祉について興味をもっていただきました。 | 長年にわたる地域社会への発展に貢献された高齢者を敬い、町長が直接訪問し長寿をお祝いすることができました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|------|
| 課題 | 離島からの一般来場者がなかったことと、各ブースでのスタンプ方法に統一性がなく混乱が生じました。 | 特になし |
| 改善・対応策 | スタンプラリーや抽選会の方法を見直します。また、師崎港からの送迎を検討します。 | 特になし |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

日常生活に不安のあるひとり暮らしや在宅高齢者が安心して暮らせるために高齢者福祉サービスを実施します

担当課 健康介護課
高齢者介護係 内線133・134

予算科目

3 款 1 項 2 目 3 事業 在宅福祉事業費

予算額 5,267千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 102千円 町債 0千円 その他 51千円 一般財源 5,114千円

決算額 4,869千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 96千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 4,773千円

計画 (PLAN)

| | | | | | | |
|----------|--|-----------------|---|---|---|---|
| 主な事業 | 在宅福祉サービス事業 | | | | | |
| 事業内容 | 高齢者や障がい者を含む要介護者を対象とした福祉サービスを提供します。 寝具洗濯乾燥サービス事業 紙おむつ給付事業 在宅老人短期宿泊事業 緊急連絡通報システム扶助 介護保険離島交通費扶助 障害者ホームヘルプサービス扶助 | | | | | |
| 基本施策① ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 | | | | |
| 基本施策② ※① | 1-4 | 個性を活かす障がい者福祉 | | | | |
| 基本施策③ ※① | 1-3 | 生涯通じて取り組む健康づくり | | | | |
| 重点政策 ※② | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|--|--|
| 主な事業 | 在宅福祉サービス事業 | |
| 予算額 | 5,267,000円 | |
| 決算額 | 4,869,282円 | |
| 財源 (一般財源) | 4,773,282円 | |
| (その他) | 96,000円 | |
| 執行率 | 92.4% | |
| 事業実績 | 寝具洗濯乾燥サービス事業 1人 紙おむつ給付事業 後期134人 緊急連絡通報システム扶助 12人 介護保険離島交通費扶助 11事業者 障害者ホームヘルプサービス扶助 1人 (在宅老人短期宿泊事業は該当なし) | |

評価 (CHECK)

| | | | | | | |
|-------------------|---|---|---|---|---|------|
| 事業指標 | 在宅福祉サービス提供事業数 | | | | | |
| 目標値 | 6事業 | | | | | |
| 実績値 | 6事業 | | | | | |
| 達成度 | 達成 | | | | | |
| 担当課評価 ※③ | 各事業を適切に実施できました。必要な人へ行き届くよう、介護事業専門職や民生委員に対して事業内容を説明しました。 | | | | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|-----------------------------------|--|
| 課題 | 需要が少なく利用者の少ない事業があります。 | |
| 改善・対応策 | 環境やニーズの変化に対応し、代替事業への転換の有効性を検討します。 | |
| 推進方針 ※⑤ | A | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 老人クラブ連合会及び単位老人クラブ、シルバー人材センターの活動を支援します

担当課 健康介護課
高齢者介護係 内線133・134

予算科目 3 款 1 項 2 目 5 事業 高齢者福祉団体助成事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|------|---------|----|-----|-----|-----|------|---------|
| 予算額 | 8,084千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 1,730千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 6,354千円 |
| 決算額 | 7,850千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 1,453千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 6,397千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 老人クラブ活動費補助事業 | シルバー人材センター運営費補助事業 |
|----------|---|--|
| 事業内容 | 多様な社会活動を通じ老後の生活を豊かなものとするとともに、明るい長寿社会づくりに資するため、老人クラブの育成指導と活動費を補助します。 | 高齢者自らの生きがいの充実や、社会参加を希望する高齢者の就業機会の増大を図るため、シルバー人材センターの運営費を補助します。 |
| 基本施策① ※① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策② ※① | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり | 2-7 働く環境づくり |
| 基本施策③ ※① | 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 重点政策 ※② | 1 2 3 | 1 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 老人クラブ活動費補助事業 | シルバー人材センター運営費補助事業 |
|-----------|----------------------------------|--|
| 予算額 | 2,762,000円 | 5,322,000円 |
| 決算額 | 2,527,984円 | 5,322,000円 |
| 財源 (一般財源) | 1,074,984円 | 5,322,000円 |
| (その他) | 1,453,000円 | 0円 |
| 執行率 | 91.5% | 100.0% |
| 事業実績 | 老人クラブ連合会数 1連合会 単位老人クラブ数 42クラブ | シルバー人材センター状況 会員数 128人 受注件数 857件 受託事業収入 51,806千円 啓発活動 シルバー通信の発行 2回/年 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 老人クラブ数及び会員数の維持 | シルバー人材センター運営状況の把握 |
|-------------------|--|---|
| 目標値 | 老人クラブ数 42クラブ、会員数 4,300人 | 1回/年 |
| 実績値 | 老人クラブ数 42クラブ、会員数 4,322人 | 1回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | コロナ禍において老人クラブが衰退しないよう、その活動を支援し、活動状況に応じて補助を行いました。 | 運営状況の把握を行い、適正な補助金額や交付方法を次年度予算に反映することができました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | コロナ5 類移行後の単位老人クラブでの活動再開に向けて、積極的な動きが見られないクラブがあります。 | 収益に対して、人件費を含む運営費に不足分があります。 |
|---------|---|-------------------------------|
| 改善・対応策 | 単位老人クラブにおける優良な活動事例を他地区にも周知していきます。 | 経費削減や受託件数増加に向けて、引き続き協議していきます。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | A |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 介護保険制度の適切な運用に努めます

担当課 健康介護課
高齢者介護係 内線133・135

予算科目 介護保険特別会計

| | | | | | | |
|-----|-------------|------|---------|-----------|-----|-------------|
| 予算額 | 1,993,000千円 | 財源内訳 | 一般会計繰入金 | 298,286千円 | その他 | 1,694,714千円 |
| 決算額 | 2,007,694千円 | 財源内訳 | 一般会計繰入金 | 298,285千円 | その他 | 1,709,409千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 保険給付 | 地域支援事業 |
|-------|-----------------------|--|
| 事業内容 | 介護サービス費の保険者負担分を支出します。 | 要支援認定を受けた人やチェックリストにより生活機能の低下が見られた人が利用できる「介護予防・生活支援サービス」及び65歳以上のすべての人が利用できる「一般介護予防事業」等を実施します。 |
| 基本施策① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策② | | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策③ | | 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ |
| 重点政策 | 1 2 3 | 1 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 保険給付 | 地域支援事業 |
|-----------|--|--|
| 予算額 | 1,864,838,000円 | 99,148,000円 |
| 決算額 | 1,800,814,699円 | 78,971,964円 |
| 財源 (一般財源) | 233,104,000円 | 14,454,000円 |
| (その他) | 1,567,710,699円 | 64,517,964円 |
| 執行率 | 96.6% | 79.7% |
| 事業実績 | 第1号被保険者数 6,471人 要介護 (要支援) 認定者数 1,003人 | 1. 介護予防・生活支援サービス事業 2. 一般介護予防事業 3. 包括的支援事業 4. 任意事業 5. 在宅医療・介護連携推進事業 6. 生活支援体制整備事業 7. 認知症総合支援事業 8. 地域ケア会議推進事業 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 保険者負担分の支出 | 高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画に基づく評価 |
|-------------------|------------------------------|---|
| 目標値 | 12回/年 | 1回/年 |
| 実績値 | 12回/年 | 1回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 適正に介護サービス費の保険者負担分の支払いができました。 | 厚生労働省が示す評価指標により自己評価を行い、地域に即した地域包括ケアシステムの推進に役立っています。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 改善・対応策 | 推進方針 ※⑤ |
|----------------------------------|--|---------|
| 介護報酬の増により、介護給付費が増加していくことが見込まれます。 | 介護予防事業を充実させ、住民の健康寿命延伸を図ります。 | A B |
| 財源や人的資源、活動場所が少なく限定的になっています。 | 医療・介護・予防など高齢者に関わる分野の専門職や関係者が連携し、優先順位をもってサービスを提供していける支援体制づくりを進めていきます。 | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

厚生部 健康子育て室

令和4年度 事業評価書

事業概要

児童委員の活動費、子育て支援金、おうちで子育て応援金、保育所運営委員活動費及び児童虐待防止に関する経費です

担当課 健康子育て室
児童係 内線540・541

予算科目

3 款 2 項 1 目 1 事業 児童福祉一般管理費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|---------|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 17,396千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 1,536千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 15,860千円 |
| 決算額 | 13,258千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 1,515千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 11,743千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | (新規) おうちで子育て応援金事業 | 子育て支援に係る活動支援 |
|----------|---|--|
| 事業内容 | 保育所等に入所していない児童で、0歳児(10か月)から2歳児を在宅で育児する世帯へ応援金を支給することにより、子育てを支援します。 | 児童委員(町・県)(51人) 保育所運営委員(19人) 子ども・子育て会議委員(10人) |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | (新規) おうちで子育て応援金事業 | 子育て支援に係る活動支援 |
|----------|-------------------------------------|---|
| 予算額 | 3,273,000円 | 14,123,000円 |
| 決算額 | 2,457,000円 | 10,800,733円 |
| 財源(一般財源) | 2,457,000円 | 9,285,726円 |
| (その他) | 0円 | 1,515,007円 |
| 執行率 | 75.1% | 76.5% |
| 事業実績 | 10月に95名、2月に91名の保護者に対し、年間延べ819人分を支給。 | 保育所運営委員会の開催(10月) 児童委員活動報償の支払い 子育て支援金の支給 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 対象児へのおうちで子育て応援金の支給 | 保育所運営委員会の開催 |
|------------------|---|---|
| 目標値 | 100% | 1回/年 |
| 実績値 | 100%の支給 | 1回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 保育所に入所せず、自宅において子育てをしている世帯に対して応援金を支給し、子育て世帯の支援をすることができました。 | 保育所運営委員会で保護者の意見を聞くことができました。子ども・子育て会議は、児童数の見直しなど限定されるため、会議は開催せず、委員の皆様にご意見をいただきました。 |
| 基本施策有効評価(妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価(効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | | R7年度からの第3期子ども・子育て支援事業計画の策定のためにアンケート調査とその分析が必要。 |
|---------|-------------------------------------|--|
| 改善・対応策 | 住基の生年月日や保育所への入所情報など漏れがないようにチェックします。 | R5年度は、子ども・子育て会議を開催し、次期計画についてのアンケート内容を決め、アンケート・分析を行います。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

家庭生活の安定と次代の社会をになう児童の健全な育成及び資質の向上を目的として、児童手当、遺児手当を支給します

担当課 健康子育て室

児童係 内線540・541

予算科目

3 款 2 項 1 目 2 事業 児童手当等支給事業費

予算額 183,616千円 財源内訳 国庫支出金 127,425千円 県支出金 30,236千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 25,955千円

決算額 182,839千円 財源内訳 国庫支出金 119,922千円 県支出金 28,364千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 34,553千円

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 児童手当支給事業 | 遺児手当支給事業 |
|----------|--|---|
| 事業内容 | 家庭生活の安定と次代の社会をになう児童の健全な育成及び資質の向上を目的として、中学校修了前の児童を養育している人に児童手当を支給します。 | 遺児の健全な育成と福祉の増進を目的として、病気や交通事故等による死亡、離婚等により両親又は片親のいない18歳以下の児童を養育している者に遺児手当を支給します。 |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 児童手当支給事業 | 遺児手当支給事業 |
|-----------|---|--|
| 予算額 | 179,383,000円 | 4,233,000円 |
| 決算額 | 178,933,922円 | 3,905,200円 |
| 財源 (一般財源) | 30,646,759円 | 3,905,200円 |
| (その他) | 148,287,163円 | 0円 |
| 執行率 | 99.7% | 92.3% |
| 事業実績 | 支給額 1人月額 3歳未満 15,000円 3歳以上～小学校終了前 10,000円 (第3子以降は15,000円) 中学生 10,000円 支給月 6・10・2月 (随時4月) 支給状況 対象児童 1,279人 | 支給額 1人月額2,600円 支給月 5・7・9・11・1・3月 支給状況 遺児数 135人 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 児童手当の支給 | 遺児手当の支給 |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 目標値 | 3回/年 | 6回/年 |
| 実績値 | 3回/年 | 6回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 対象者に支給することができました。 | 対象者に支給することができました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | | 町遺児手当は、愛知県児童扶養手当や愛知県遺児手当の上乗せで支給する役割のため、制度上及び運用上の問題ははありません。 |
|---------|----------------------------|--|
| 改善・対応策 | 引き続き適正な支給認定を実施し、対象者に支給します。 | 引き続き適正な支給認定を実施し、対象者に支給します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

保育サービスの充実を図ります

担当課 健康子育て室

児童係 内線540・541

予算科目

3 款 2 項 2 目 1 事業 保育所一般管理費

予算額 135,885千円 財源内訳 国庫支出金 16,798千円 県支出金 8,990千円 町債 0千円 その他 20,899千円 一般財源 89,198千円

決算額 129,123千円 財源内訳 国庫支出金 23,269千円 県支出金 9,457千円 町債 0千円 その他 10,720千円 一般財源 85,677千円

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 公立保育所管理運営 | 私立保育園運営委託 |
|----------|---|---|
| 事業内容 | 保育所では、保育を必要とする児童を、家庭の保護者にかわって保育を行います。 公立保育所 (4か所) 内海・かるも・大井・日間賀 | 私立保育園 (篠島保育園) へ施設型給付費委託料、民間保育所運営費補助金を支払います。 |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策② ※① | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 公立保育所管理運営 | 私立保育園運営委託 |
|-----------|--|---------------------------------------|
| 予算額 | 94,412,000円 | 41,473,000円 |
| 決算額 | 88,763,840円 | 40,359,136円 |
| 財源 (一般財源) | 69,945,505円 | 15,729,556円 |
| (その他) | 18,818,335円 | 24,629,580円 |
| 執行率 | 94.0% | 97.3% |
| 事業実績 | 低年齢児保育の実施 0・1歳児2保育所、2歳児4保育所 早期・延長保育の実施 3保育所 一時保育の実施 2保育所 | 施設型給付費委託料の支出 (年12回) 民間保育所運営費補助金の支出 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 希望の保育所に入所している乳幼児の割合 | 委託料、補助金の支払い回数及び割合 |
|-------------------|--|--|
| 目標値 | 100% | 年12回、100% |
| 実績値 | 100% | 年12回、100% |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 職員の配置を含め、適正な保育所運営ができました。 旧師崎保育所の処分を行いました。 | 施設型給付費委託料と民間保育所運営費補助金を支払い、私立保育園の適正な運営を図りました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 施設の老朽化による修繕費等が増加傾向にあります。基準を満たしているが、保育を必要とする児童の低年齢化により、年度途中の児童の増に対応した保育士の適正配置が必要。 | 管理費の補助額が少ないので、価格高騰等の状況から修繕、備品購入する場合に園の負担が大きい。 |
|---------|--|---|
| 改善・対応策 | 修繕等が必要なものは、現場を確認し、緊急性の高いものから対応します。 低年齢児童の保育について、出生数に合わせ適正な保育士の配置を行います。 | 修繕等の経費の緊急性、必要性を考慮し、検討します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 子育て支援センター（おひさま）、どんぐり園の充実を図ります

担当課 健康子育て室

児童係 内線540・541

予算科目 3 款 2 項 2 目 2 事業 子育て支援センター・どんぐり園事業費

予算額 3,822千円 財源内訳 国庫支出金 815千円 県支出金 815千円 町債 0千円 その他 158千円 一般財源 2,034千円

決算額 3,230千円 財源内訳 国庫支出金 815千円 県支出金 815千円 町債 0千円 その他 533千円 一般財源 1,067千円

計画 (PLAN)

| 主な事業 | どんぐり園事業 | 子育て支援センター事業 |
|----------|--|--|
| 事業内容 | 一人一人の子どもの特性を理解し、保護者と一緒に手を携えて、子どもの発達を援助し、家族が子どもと向き合い、主体的な子育てができるように支援します。 | 親子で遊べる場の提供・育児不安等についての相談・子育てサークル等の育成支援・育児に関する情報提供等を実施します。 |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策② ※① | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり | 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | どんぐり園事業 | 子育て支援センター事業 |
|----------|------------|---|
| 予算額 | 1,077,000円 | 2,745,000円 |
| 決算額 | 682,822円 | 2,547,728円 |
| 財源（一般財源） | 149,022円 | 917,728円 |
| （その他） | 533,800円 | 1,630,000円 |
| 執行率 | 63.4% | 92.8% |
| 事業実績 | 通園児童 8人 | 年間延べ利用者 保護者1,231人、児童1,480人 相談件数36件 ちびっこひろば支援 篠島 6回 日間賀島 3回 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 臨床心理士による療育相談 | 子育て支援センターだより「おひさま」の発行 |
|-------------------|---------------------------------------|--|
| 目標値 | 3回/年 | 12回/年 |
| 実績値 | 3回/年 | 12回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 療育相談により、通園する親子や対応する保育士が療育の知識を習得できました。 | 子どもの数が減ってきている中でも、利用者は増えているため、繰り返し利用していただいていると考えています。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 親の理解や施設の周知不足。 | 延べ人数は増加しているが、新たに子育て支援センターへ来る親子が減少しています。 |
|---------|-------------------------------------|--|
| 改善・対応策 | 健診やその後のフォロー、いちごの会による親子への働きかけを強化します。 | 支援センターだより等での周知、イベントの開催などを行い、参加者の増加に努めます。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

放課後児童クラブの充実を図ります

担当課 健康子育て室

児童係 内線540・541

予算科目 3 款 2 項 2 目 3 事業 放課後児童健全育成事業費

予算額 10,499千円 財源内訳 国庫支出金 1,955千円 県支出金 1,955千円 町債 0千円 その他 4,441千円 一般財源 2,148千円

決算額 8,399千円 財源内訳 国庫支出金 1,319千円 県支出金 1,319千円 町債 0千円 その他 3,840千円 一般財源 1,921千円

計画 (PLAN)

| | | | |
|----------|---|-----------------|---|
| 主な事業 | 放課後児童健全育成事業 | | |
| 事業内容 | 児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-1 | 地域で大切にしている子育て環境 | |
| 基本施策② ※① | 1-6 | 豊かな自然を活かしたひとづくり | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | ① | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|--|--|
| 主な事業 | 放課後児童健全育成事業 | |
| 予算額 | 10,552,000円 | |
| 決算額 | 8,398,931円 | |
| 財源 (一般財源) | 1,920,931円 | |
| (その他) | 6,478,000円 | |
| 執行率 | 79.6% | |
| 事業実績 | うみっこ放課後児童クラブ利用者 年間平均18.7人 (定員20人) 豊浜放課後児童クラブ利用者 年間平均13.6人 (定員25人) | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|-------------------|--|-----------|----|
| 事業指標 | 放課後児童クラブの申込みに対する充足率 | | |
| 目標値 | 100% | | |
| 実績値 | 100% | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 児童の健全育成のため、適正な運営ができました。うみっこ放課後児童クラブの利用者が増えているため、定員等の検討が必要。 | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 4 ⑤ | 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 2 3 4 ⑤ | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | 入所希望者の増加、特に夏休みのニーズが多いので、定員の増加、支援員の追加が必要。 | |
| 改善・対応策 | 両クラブとも小学校の教室を借用しているため、小学校との協議を行います。支援員等の追加募集を行います。 | |
| 推進方針 ※⑤ | A | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 ファミリーサポートセンターを立上げ、会員の登録、マッチングを図ります

担当課 健康子育て室

児童係 内線540・541

予算科目 3 款 2 項 2 目 4 事業 ファミリー・サポート・センター事業費

予算額 944千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 944千円

決算額 97千円 財源内訳 国庫支出金 32千円 県支出金 32千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 33千円

計画 (PLAN)

| | | |
|----------|---|--|
| 主な事業 | (新規) ファミリー・サポート・センター事業費 | |
| 事業内容 | 子育ての援助を受けたい人と行いたい人をマッチングするファミリー・サポート・センターを立上げ、会員の登録、マッチング、援助会員への研修を実施します。 | |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|---|----------|
| 主な事業 | (新規) ファミリー・サポート・センター事業費 | |
| 予算額 | | 944,000円 |
| 決算額 | | 96,820円 |
| 財源 (一般財源) | | 32,820円 |
| (その他) | | 64,000円 |
| 執行率 | | 10.3% |
| 事業実績 | 会員登録数 依頼会員 15人、援助会員 11人、両方会員 5人 計31人 | |

評価 (CHECK)

| | | |
|-------------------|---|------|
| 事業指標 | ファミリーサポートセンターの開設 | |
| 目標値 | 会員30名の登録 | |
| 実績値 | 会員登録数 31人 | |
| 達成度 | 達成 | |
| 担当課評価 ※③ | 登録会員数が31人で、目標数を到達できた。今後も周知をして登録につなげていきます。 | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | #N/A |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | #N/A |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | 会員の登録数が少なく、ファミリー・サポート・センターの認知度が低いです。 | |
| 改善・対応策 | 子育て支援センターや親子ふれあいひろば、民生委員協議会などで周知に努めます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | A | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 保育環境の整備・改善を図るため、保育所の改修工事等を行います

担当課 健康子育て室

児童係 内線540・541

予算科目 3 款 2 項 3 目 1 事業 保育所環境整備費

予算額 7,402千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 4,700千円 その他 0千円 一般財源 2,702千円

決算額 7,141千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 4,600千円 その他 0千円 一般財源 2,541千円

計画 (PLAN)

| | | |
|----------|--|--|
| 主な事業 | 保育所環境整備事業 | |
| 事業内容 | 保育環境の整備・改善を図るため、内海保育所の屋上防水修繕工事、かるも保育所のエアコン取替え、日間賀保育所の非常口扉・床の取替え修繕工事等を行う。 | |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|--|--|
| 主な事業 | 保育所環境整備事業 | |
| 予算額 | 7,402,000円 | |
| 決算額 | 7,141,112円 | |
| 財源 (一般財源) | 2,541,112円 | |
| (その他) | 4,600,000円 | |
| 執行率 | 96.5% | |
| 事業実績 | 内海保育所 屋上防水改修工事、給湯器取替、戸襖クロス張替 かるも保育所 2階保育室空調設備取替 大井保育所 乳児室床改修、マンホール取替 日間賀保育所 土間階段修繕、出入口床修繕 | |

評価 (CHECK)

| | | |
|-------------------|------------------------------------|-----------------|
| 事業指標 | 保育環境の整備 | |
| 目標値 | 4 保育所での修繕等 | |
| 実績値 | 4 保育所での修繕 | |
| 達成度 | 達成 | |
| 担当課評価 ※③ | すべての保育所で緊急性の高いものから修繕工事を行うことができました。 | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|-----------------------------|--|
| 課題 | 施設の老朽化により、対応箇所が増加。 | |
| 改善・対応策 | 緊急性、危険度の高いものから、順次対応をしていきます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 児童遊園の適正な管理と利用の促進を図ります

担当課 健康子育て室

児童係 内線540・541

予算科目 3 款 2 項 3 目 2 事業 児童遊園等整備事業費

予算額 841千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 841千円

決算額 477千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 477千円

計画 (PLAN)

| | | |
|----------|--|-----------------|
| 主な事業 | 児童遊園等整備事業 | |
| 事業内容 | 児童遊園の適正な管理と利用の促進を図るため、遊具の補修費を補助するとともに、児童遊園（9か所）、公立保育所（4か所）及び旧中洲保育所の遊具の定期点検を行います。 | |
| 基本施策① ※① | 1-1 | 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策② ※① | | |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① | 2 3 |

実施 (DO)

| | | |
|----------|--|--|
| 主な事業 | 児童遊園等整備事業 | |
| 予算額 | 841,000円 | |
| 決算額 | 476,880円 | |
| 財源（一般財源） | 476,880円 | |
| （その他） | 0円 | |
| 執行率 | 56.7% | |
| 事業実績 | 児童遊園、公立保育所、旧中洲保育所の遊具の点検を実施。 5つの児童遊園（富士ヶ峰、小佐、入見、東部、山田）の遊具の修繕に対し補助金を交付。 | |

評価 (CHECK)

| | | |
|-------------------|-----------------------|-----------------|
| 事業指標 | 遊具の点検施設数 | |
| 目標値 | 児童遊園9か所 保育所等5か所 | |
| 実績値 | 児童遊園9か所 保育所等5か所 | |
| 達成度 | 達成 | |
| 担当課評価 ※③ | 遊具の点検により、安全性が確認できました。 | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 4 ⑤ 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | 遊具の老朽化が進み、修繕が必要な所が多くなっています。区で維持をするのも大変であり、撤去したいという声も聞きました。 | |
| 改善・対応策 | 保育所の遊具については、R4.5年度で修繕を実施する予定。児童遊園については、区で維持をしていくために撤去費についても補助をしていくのか検討します。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

保健衛生に係る献血推進事業、けんこう南知多プラン推進事業等を実施します

担当課 健康子育て室
健康推進係 内線511・512

予算科目 4 款 1 項 1 目 1 事業 保健衛生一般管理費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|------|-------|-----|------|------|----|-----|-----|------|------|---------|
| 予算額 | 1,497千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 70千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 19千円 | 一般財源 | 1,408千円 |
| 決算額 | 1,363千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 39千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 20千円 | 一般財源 | 1,304千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 献血推進事業 | けんこう南知多プラン推進事業 |
|----------|--------------------------------|--------------------------|
| 事業内容 | 献血思想の普及を図り、事業所等の協力を得て献血を実施します。 | けんこう南知多プランの推進啓発活動を実施します。 |
| 基本施策① ※① | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策② ※① | | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策③ ※① | | 1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 献血推進事業 | けんこう南知多プラン推進事業 |
|-----------|--|--|
| 予算額 | 20,000円 | 58,000円 |
| 決算額 | 19,846円 | 53,106円 |
| 財源 (一般財源) | 19,846円 | 53,106円 |
| (その他) | 0円 | 0円 |
| 執行率 | 99.2% | 91.6% |
| 事業実績 | 啓発実施 案内チラシ全戸配布 (3回) 等 実施回数 5回 献血者数 212人 | 「食生活」へ取り組み (株式会社ショクブんと連携) 町の特産物キャベツを使用した「とん平焼き」のレシピを考案 ワーキンググループ推進会議を開催 広報における計画推進活動 3回 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 献血事業の啓発 | 健康増進に関する広報などによる普及啓発 |
|-------------------|--|--|
| 目標値 | 2回以上/年 | 2回以上/年 |
| 実績値 | 3回 (チラシ全戸配布) | 3回 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | コロナ禍において社会全体で血液が不足している中で、関係団体と調整を行い、開催回数を増やすことができ、前年度の献血者数の実績を上回ることができました。 | 推進員の所属構成を見直し、住民の意見を的確に取り入れる体制が構築できた。また、官民連携により町民に有用な情報を提供することができたことについて、推進員からも好評が得られました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 若年層に対する献血思想の普及啓発。 | 次期 (第3期) 計画策定に向けた適切な現計画評価方法の検討。 |
|---------|---|--|
| 改善・対応策 | コロナ禍により、近年休止中である県内海高校を会場とした献血が実施できるよう連絡調整を行います。 | アンケート調査の回答方法にWEBを導入することで、回収率を向上させ、現計画の推進状況を正確に把握します。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | A |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

篠島、日間賀島における安定的、継続的な医療を確保するため、診療所の管理運営費の補助及び維持管理を行います

担当課 健康子育て室
健康推進係 内線511・512

予算科目

4 款 1 項 1 目 2 事業 離島診療所運営費

予算額 8,494千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 8,494千円

決算額 8,451千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 0千円 一般財源 8,451千円

計画 (PLAN)

| | | |
|----------|---|-----------------|
| 主な事業 | 離島診療所管理運営事業 | |
| 事業内容 | 篠島、日間賀島における安定的、継続的な医療を確保するため、診療所の管理運営費の補助及び維持管理を行います。 | |
| 基本施策① ※① | 1-3 | 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策② ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策③ ※① | 3-4 | 安心な暮らしを支えるインフラ |
| 重点政策 ※② | ① | 2 ③ |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|--|--|
| 主な事業 | 離島診療所管理運営事業 | |
| 予算額 | 8,494,000円 | |
| 決算額 | 8,450,975円 | |
| 財源 (一般財源) | 8,450,975円 | |
| (その他) | 0円 | |
| 執行率 | 99.5% | |
| 事業実績 | 離島診療所管理運営費補助 篠島診療所空調機及び浄化槽修繕 日間賀島診療所網戸張替修繕 | |

評価 (CHECK)

| | | |
|-------------------|--|-----------------|
| 事業指標 | 離島診療所の運営費補助 | |
| 目標値 | 2 診療所 | |
| 実績値 | 2 診療所 | |
| 達成度 | 達成 | |
| 担当課評価 ※③ | 運営費の補助を実施し、離島における医療を確保しました。また、老朽化している篠島診療所のエアコン等の修繕を行いました。 | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | マイナンバーカードの健康保険証利用への対応。 | |
| 改善・対応策 | 島民の要望に応え、両島診療所でマイナンバーカードを健康保険証として利用できる環境を整えます。 | |
| 推進方針 ※⑤ | A | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 地域の保健医療の充実と救急医療体制の確保を図ります

担当課 健康子育て室
健康推進係 内線511・512

予算科目 4 款 1 項 1 目 3 事業 地域保健医療事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|-----|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 28,097千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 28,097千円 |
| 決算額 | 28,095千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 0千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 28,095千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 知多厚生病院運営費補助金 | 在宅当番医制業務委託 |
|----------|---|---|
| 事業内容 | 救急告示病院として救急医療の確保と地域医療の充実を図るため、南知多町・美浜町の両町で補助をします。 | 休日（日曜、祝日及び12/31～1/3）における地域住民の救急医療確保を図るため、南知多町・美浜町の医師会の協力を得て、在宅当番医による休日診療を実施します。 |
| 基本施策① ※① | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 | 1-1 地域で大切にしている子育て環境 |
| 基本施策② ※① | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策③ ※① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 知多厚生病院運営費補助金 | 在宅当番医制業務委託 |
|----------|----------------|------------------------------------|
| 予算額 | 24,935,000円 | 2,219,000円 |
| 決算額 | 24,935,000円 | 2,219,000円 |
| 財源（一般財源） | 24,935,000円 | 2,219,000円 |
| （その他） | 0円 | 0円 |
| 執行率 | 100.0% | 100.0% |
| 事業実績 | 知多厚生病院管理運営費補助金 | 在宅当番医制業務委託 診療日数 31日 受診者数 47人 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 知多厚生病院運営費補助金の支出 | 休日急病当番医事業の広報掲載 |
|------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 目標値 | 1回/年 | 12回/年 |
| 実績値 | 1回/年 | 12回/年 |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | コロナ禍においても公的医療機関として必要な医療提供体制が維持されました。 | コロナ禍においても地元医師会による休日当番制（一次救急）が維持されました。 |
| 基本施策有効評価（妥当性） ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |
| 費用対効果評価（効率性） ※④ | 低い 1 2 3 ④ 5 高い | 低い 1 2 3 ④ 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 新型コロナウイルス感染症終息後に向けた救急連携体制の再整備。 | 新型コロナワクチン接種の個別接種移行による個別医療機関の負担増。 |
|---------|---|--|
| 改善・対応策 | コロナ禍において規模縮小をしていた知多厚生病院主催の地域災害拠点病院災害連携訓練に参加します。 | 各医療機関の負担が増大していく中でも、休日急病当番事業を始めとした通常の地域医療提供体制が維持できるように地元医師会と協議を重ねていきます。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 乳幼児から高齢者まで健康と生命を守る予防接種事業を推進します

担当課 健康子育て室
健康推進係 内線511・512

予算科目 4 款 1 項 2 目 1 事業 予防接種事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-------|------|---------|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 45,416千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 995千円 | 県支出金 | 8千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 44,413千円 |
| 決算額 | 39,976千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 974千円 | 県支出金 | 5,039千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 33,963千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 予防接種事業 | | |
|----------|---|-----------------|---|
| 事業内容 | 地元医師会等の協力により、予防接種法及び感染症予防法に基づく予防接種を乳幼児、小中高年生、高齢者等に実施し、感染症の発生及びまん延の予防に努めます。受験生等支援のため、中学3年・高校3年年齢相当者インフルエンザ予防接種(任意)を継続します。子宮頸がん予防ワクチン接種(定期)の積極的勧奨が再開されます。緊急風しん抗体検査・風しん5期予防接種(定期)は3年間延長されます。 | | |
| 基本施策① ※① | 1-1 | 地域で大切にしている子育て環境 | |
| 基本施策② ※① | 1-3 | 生涯通じて取り組む健康づくり | |
| 基本施策③ ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 | |
| 重点政策 ※② | ① | 2 | 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 予防接種事業 | |
|----------|--|--|
| 予算額 | 45,416,000円 | |
| 決算額 | 39,976,143円 | |
| 財源(一般財源) | 33,963,443円 | |
| (その他) | 6,012,700円 | |
| 執行率 | 88.0% | |
| 事業実績 | 予防接種事業 麻しん風しん 1期 122.7% 日本脳炎 1期 137.1%・2期 117.0% ロタウイルス 109.8% 中3高3年齢相当インフルエンザ* 40.0% 風しん追加的対策 抗体検査42人・予防接種7人 | |

評価 (CHECK)

| | | | |
|------------------|--|-----------|----|
| 事業指標 | 定期予防接種(A類)の接種率(延べ) | | |
| 目標値 | 90% | | |
| 実績値 | 97.1% | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | コロナ禍における受診控えを危惧していたが、周知に努めた成果として目標を達成できました。また、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種(新規)についても周知・勧奨の成果として述べ88人の方に接種していただきました。 | | |
| 基本施策有効評価(妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |
| 費用対効果評価(効率性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|--|--|
| 課題 | 新たに承認された子宮頸がん9価ワクチンについての周知。 | |
| 改善・対応策 | 9価ワクチン(シルガード9)について広報、HP及び個別通知による周知・勧奨を実施します。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 健康教育・健康相談・訪問指導等を実施します

担当課 健康子育て室
健康推進係 内線511・512

予算科目 4 款 1 項 2 目 2 事業 保健事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|------|-------|-----|------|------|----|-----|-----|-----|------|------|
| 予算額 | 123千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 38千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 85千円 |
| 決算額 | 18千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 5千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 13千円 |

計画 (PLAN)

| | | | | | | |
|----------|--------------------------------------|-----------------|---|---|---|---|
| 主な事業 | 健康教育・健康相談の実施 | | | | | |
| 事業内容 | 健康に関する講話を実施し、健康に関する正しい知識の普及と啓発に努めます。 | | | | | |
| 基本施策① ※① | 1-1 | 地域で大切にしている子育て環境 | | | | |
| 基本施策② ※① | 1-3 | 生涯通じて取り組む健康づくり | | | | |
| 基本施策③ ※① | 1-5 | 安心して住み続けられる長寿社会 | | | | |
| 重点政策 ※② | ① | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 |

実施 (DO)

| | | |
|-----------|---|--|
| 主な事業 | 健康教育・健康相談の実施 | |
| 予算額 | 123,000円 | |
| 決算額 | 17,575円 | |
| 財源 (一般財源) | 12,575円 | |
| (その他) | 5,000円 | |
| 執行率 | 14.3% | |
| 事業実績 | 健康教育の開催 乳がん予防 5回 201人 ゲートキーパー養成講座 2回 49人 小中学校 1回 18人 子育て関係 11回 78人 介護予防 4回 41人 | |

評価 (CHECK)

| | | | | | | |
|-------------------|--|---|---|---|---|------|
| 事業指標 | 健康増進についての講座開催 | | | | | |
| 目標値 | 1回/年 | | | | | |
| 実績値 | 1回/年 | | | | | |
| 達成度 | 達成 | | | | | |
| 担当課評価 ※③ | 民生委員全員協議会の場で健康保持増進のための講座を開催することができました。 | | | | | |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 高い |

改善 (ACTION)

| | | |
|---------|---|--|
| 課題 | 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の開始に向けた連携体制の整備。 | |
| 改善・対応策 | 介護予防の担当部署と連携し、本町の高齢者が抱える健康課題の重点項目である高血圧についての健康教育を実施します。 | |
| 推進方針 ※⑤ | B | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要

生活習慣病の予防や早期発見、健康づくりへの意識高揚を図るための健診事業を実施します

担当課 健康子育て室
健康推進係 内線511・512

予算科目

4 款 1 項 2 目 3 事業 健康診査事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|-----|------|-------|----|-----|-----|---------|------|----------|
| 予算額 | 12,405千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 336千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 1,381千円 | 一般財源 | 10,688千円 |
| 決算額 | 11,262千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 0千円 | 県支出金 | 503千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 1,194千円 | 一般財源 | 9,565千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | がん等検診委託 | 歯周病検診 |
|----------|---------------------------------------|--|
| 事業内容 | がん等検診を実施し、検診の結果必要者へは医療機関への受診勧奨を実施します。 | う蝕や歯周病の早期発見と正しい知識の普及、意識の向上とともに歯の喪失予防のため、歯周病検診を実施します。 |
| 基本施策① ※① | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり | 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり |
| 基本施策② ※① | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 | 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 |
| 基本施策③ ※① | | |
| 重点政策 ※② | ① 2 3 | ① 2 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | がん等検診委託 | 歯周病検診 |
|-----------|---|------------|
| 予算額 | 9,924,000円 | 456,000円 |
| 決算額 | 8,995,918円 | 456,000円 |
| 財源 (一般財源) | 8,012,418円 | 456,000円 |
| (その他) | 983,500円 | 0円 |
| 執行率 | 90.6% | 100.0% |
| 事業実績 | 胃がん検診 207人 子宮頸がん検診 412人 クーポン 5人 乳がん検診 434人 クーポン 18人 大腸がん検診 591人 クーポン 17人 前立腺がん検診 83人 肺がん検診 2,070人 ピロリ菌検査 113人 | 歯周病検診 114人 |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 集団がん検診を実施 | 対象年齢の方への通知 |
|-------------------|---|---|
| 目標値 | 5日/年 | 100% |
| 実績値 | 5日/年 | 100% |
| 達成度 | 達成 | 達成 |
| 担当課評価 ※③ | 悪天候により日程の振替がありました。予定していた集団検診の日程を実施しました。また、個別検診における胸部X線撮影機関を1機関を増やすことができました。 | 対象年齢の方全員へ通知しました。また、町広報へコロナ禍におけるマスク生活による虫歯や歯周病の増加のリスクについて掲載し、注意を呼びかけました。 |
| 基本施策有効評価 (妥当性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |
| 費用対効果評価 (効率性) ※④ | 低い 1 2 ③ 4 5 高い | 低い 1 2 ③ 4 5 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | がん検診の受診機会の拡大。 | 歯周病検診の受診意識の向上。 |
|---------|--|---|
| 改善・対応策 | 受診者数増加を目指し、令和6年度以降、個別検診の実施期間が拡大できるよう個別医療機関と折衝していきます。 | 検診対象者の大部分を占める多忙な働き手世代の受診意識を向上させるため、町広報などにより予防の重要性や必要性を周知していきます。 |
| 推進方針 ※⑤ | B | B |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和4年度 事業評価書

事業概要 子どもを安心して生み育てることができる環境づくりに努めます

担当課 健康子育て室
健康推進係 内線511・512

予算科目 4 款 1 項 4 目 1 事業 母子保健事業費

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|------|-------|---------|------|------|----|-----|-----|-----|------|----------|
| 予算額 | 13,096千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 1,595千円 | 県支出金 | 77千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 1千円 | 一般財源 | 11,423千円 |
| 決算額 | 12,150千円 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 1,471千円 | 県支出金 | 2千円 | 町債 | 0千円 | その他 | 0千円 | 一般財源 | 10,677千円 |

計画 (PLAN)

| 主な事業 | 母子保健事業費 | | |
|----------|---|----------------|---|
| 事業内容 | 子どもが健やかに成長できるように、妊婦、子ども及びその保護者に対して各種教室・健診・相談業務を実施します。 ・母子健康手帳の交付 ・妊産婦健康診査等受診券の交付 ・健康診査及び育児相談・訪問 ・3歳児健診用屈折検査機器購入(新規) | | |
| 基本施策① ※① | 1-1 | 地域で大切にする子育て環境 | |
| 基本施策② ※① | 1-3 | 生涯通じて取り組む健康づくり | |
| 基本施策③ ※① | | | |
| 重点政策 ※② | ① | 2 | 3 |

実施 (DO)

| 主な事業 | 母子保健事業費 | |
|----------|---|--|
| 予算額 | 13,096,000円 | |
| 決算額 | 12,150,154円 | |
| 財源(一般財源) | 10,677,215円 | |
| (その他) | 1,472,939円 | |
| 執行率 | 92.8% | |
| 事業実績 | 母子健康手帳の交付件数 50件 妊産婦健康診査等の受診 妊婦 延べ535人 産婦 (1回目)39人 (2回目)40人 妊婦歯科健康診査の受診 10人 乳児健康診査(1回目)49人(2回目)37人 健康診査及び育児相談、訪問の実施 乳幼児歯科事業の実施 | |

評価 (CHECK)

| 事業指標 | 母子手帳・受診券の交付時に全数面接を実施 | | |
|------------------|--|-----------|----|
| 目標値 | 100% | | |
| 実績値 | 100% | | |
| 達成度 | 達成 | | |
| 担当課評価 ※③ | 全数面接を達成しました。また、3歳児健診における視覚検査において、屈折検査機器を導入し、乳幼児期における親の不安解消に寄与しました。 | | |
| 基本施策有効評価(妥当性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |
| 費用対効果評価(効率性) ※④ | 低い | 1 2 3 ④ 5 | 高い |

改善 (ACTION)

| 課題 | 対面以外の方法で気軽に相談できる環境が不足しています。 | |
|---------|--|--|
| 改善・対応策 | 多忙な働く世代等が子育てに関する悩みをスマートフォン等を使って、気軽に相談できる環境を整備するため、すこやかオンライン相談事業を導入します。 | |
| 推進方針 ※⑤ | A | |

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討